



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 エスベック株式会社
コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大島 敬二
四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

TEL 06-6358-4741
平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,039	△1.8	680	△20.0	811	△7.4	503	△18.5
25年3月期第2四半期	14,290	△0.1	850	49.4	876	37.8	618	18.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,176百万円 (106.2%) 25年3月期第2四半期 570百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21.65	—
25年3月期第2四半期	26.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	39,999		31,445	78.0			1,341.34	
25年3月期	39,724		30,455	76.2			1,301.17	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 31,199百万円 25年3月期 30,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.9	2,300	23.2	2,400	11.0	1,300	6.6	55.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	23,781,394 株	25年3月期	23,781,394 株
26年3月期2Q	521,599 株	25年3月期	521,449 株
26年3月期2Q	23,259,860 株	25年3月期2Q	23,260,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、米国を中心とする海外経済の持ち直しや輸出環境の好転などにより回復基調となりましたが、中国経済の成長鈍化の影響などにより、景気の回復力は脆弱なものとなりました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続しましたが、その他のメーカーでは、投資に慎重な姿勢が根強く、本格的な投資回復は見られませんでした。

こうした中、当社は、好調な自動車市場において取り組みを強化するとともに、設備投資が比較的堅調な恒温恒湿室ビルドインチャンバーやカスタム製品などの受注獲得に注力してまいりました。また、海外市場では、中国・アジアや米国において営業活動を強化してまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は3.6%減少し15,551百万円となり、売上高は1.8%減少し14,039百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少などにより、営業利益は20.0%減少し680百万円、四半期純利益は18.5%減少し503百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	16,137	15,551	△3.6
売上高	14,290	14,039	△1.8
営業利益	850	680	△20.0
経常利益	876	811	△7.4
四半期純利益	618	503	△18.5

セグメント別の業績

当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装置事業	12,682	11,320	575
サービス事業	2,493	2,306	177
その他事業	464	496	△72
連結消去	△88	△84	0
計	15,551	14,039	680

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では本格的な投資回復が見られず、恒温恒湿器プラチナスJシリーズなど汎用性の高い標準製品の売上高が前年同四半期連結累計期間比で減少しました。恒温恒湿室ビルドインチャンパーにおいては、自動車市場を中心に受注獲得に努め、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに増加しました。海外市場におきましては、欧米では前年同四半期連結累計期間比で売上高が増加しましたが、中国・アジアの売上高は前年同四半期連結累計期間比で減少しました。こうした結果、環境試験器全体では、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で減少しました。

エナジーデバイス装置につきましては、車載用二次電池の分野を中心に国内や中国など海外市場の開拓を進め、引合は増加しましたが受注拡大には至らず、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で減少しました。

半導体関連装置につきましては、半導体メーカーの投資が好調に推移し、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに増加しました。

FPD関連装置につきましては、海外メーカーよりクリーンオープンを受注し、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに増加しました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は、2.3%減少し12,682百万円、売上高は0.9%減少し11,320百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少などにより前年同四半期連結累計期間比で10.6%減少し、575百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	12,975	12,682	△2.3
売上高	11,419	11,320	△0.9
営業利益	642	575	△10.6

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、顧客の経費削減などにより装置の移設や改造が減少し、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに減少しました。

受託試験・レンタルにつきましては、主力のテストコンサルティングにおいて自動車市場が好調に推移しましたが、レンタルが低迷し、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに減少しました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は5.0%減少し2,493百万円、売上高は5.7%減少し2,306百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少などにより前年同四半期連結累計期間比で37.1%減少し、177百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	2,625	2,493	△5.0
売上高	2,445	2,306	△5.7
営業利益	282	177	△37.1

<その他事業>

環境エンジニアリング事業では、森づくりにおいて前年同四半期連結累計期間比で受注高は減少したものの、売上高は増加しました。植物工場事業では、前年同四半期連結累計期間並みの売上高となりました。その他事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は24.0%減少し464百万円となったものの、売上高は1.1%増加し496百万円となりました。利益面につきましては、72百万円の営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	611	464	△24.0
売上高	491	496	1.1
営業損失 (△)	△75	△72	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節の変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は39,999百万円で、前連結会計年度末と比べ275百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加208百万円、受取手形及び売掛金の減少1,377百万円、有価証券の増加500百万円、仕掛品等のたな卸資産の増加611百万円、投資その他の資産の増加304百万円などによるものであります。また、負債は8,554百万円で前連結会計年度末と比べ715百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少747百万円などによるものであります。純資産は31,445百万円で前連結会計年度末と比べ990百万円の増加となり、その主な要因は為替換算調整勘定の増加423百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては、平成25年9月10日に発表した予想数値から修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年11月1日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成26年3月期通期の連結業績予想および配当予想は修正しておりません。

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成25年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績の影響を与える要因は、これらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,371	9,579
受取手形及び売掛金	11,264	9,887
有価証券	3,901	4,401
商品及び製品	333	405
仕掛品	926	1,380
原材料及び貯蔵品	1,101	1,187
その他	1,523	1,454
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	28,414	28,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,060	3,077
土地	4,406	4,419
その他（純額）	1,063	1,150
有形固定資産合計	8,530	8,647
無形固定資産	217	197
投資その他の資産	2,561	2,866
固定資産合計	11,309	11,711
資産合計	39,724	39,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,730	3,983
未払法人税等	203	304
賞与引当金	372	346
役員賞与引当金	3	1
製品保証引当金	239	214
その他	2,142	2,078
流動負債合計	7,692	6,928
固定負債		
退職給付引当金	26	30
役員退職慰労引当金	19	19
資産除去債務	51	51
その他	1,479	1,524
固定負債合計	1,576	1,625
負債合計	9,269	8,554

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	7,172
利益剰余金	17,619	17,936
自己株式	△360	△360
株主資本合計	31,327	31,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	636
土地再評価差額金	△742	△742
為替換算調整勘定	△763	△339
その他の包括利益累計額合計	△1,062	△445
少数株主持分	190	246
純資産合計	30,455	31,445
負債純資産合計	39,724	39,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,290	14,039
売上原価	9,364	9,250
売上総利益	4,925	4,788
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,145	1,212
賞与引当金繰入額	108	107
製品保証引当金繰入額	101	81
貸倒引当金繰入額	—	0
役員賞与引当金繰入額	1	1
その他	2,719	2,703
販売費及び一般管理費合計	4,075	4,108
営業利益	850	680
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	29	34
有価証券売却益	0	0
持分法による投資利益	43	—
為替差益	—	51
その他	26	37
営業外収益合計	112	138
営業外費用		
支払利息	0	0
有価証券売却損	1	—
為替差損	70	—
支払手数料	5	4
その他	7	2
営業外費用合計	86	8
経常利益	876	811
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損	20	—
特別損失合計	23	2
税金等調整前四半期純利益	854	811
法人税、住民税及び事業税	197	282
少数株主損益調整前四半期純利益	657	528
少数株主利益	38	25
四半期純利益	618	503

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	657	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	193
為替換算調整勘定	61	454
持分法適用会社に対する持分相当額	5	—
その他の包括利益合計	△86	647
四半期包括利益	570	1,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530	1,120
少数株主に係る四半期包括利益	40	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,417	2,381	490	14,290	—	14,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	63	1	67	△67	—
計	11,419	2,445	491	14,357	△67	14,290
セグメント利益又は セグメント損失(△)	642	282	△75	850	0	850

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,320	2,230	488	14,039	—	14,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	75	8	84	△84	—
計	11,320	2,306	496	14,123	△84	14,039
セグメント利益又は セグメント損失(△)	575	177	△72	680	0	680

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。